OWL-603D　シリーズ取扱説明書

この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入したことが証明できるようレシートなどと一緒にして大切に保管して下さい。

１．警告・注意事項

- ✧ ケース内には尖った部分や鋭利な部分があります。手袋着用などで身体の保護を図ってください。
- ✧ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、火災の発生原因になる場合があります。
- ✧ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。作業を行う前に必ずアースを取るなどして静電気対策を行ってから作業を実施して下さい。
- ✧ 各機器（HDD、FDD等）をネジ止めする際は、各機器付属のネジをお使い下さい。
- ✧ 本説明書ではハードディスクドライブを「HDD」フロッピーディスクドライブを「FDD」長さ単位のインチを「”」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。
- ✧ 電源ユニット搭載モデルの場合、付属のACケーブルは、安全規格上その電源ユニット専用のものです。他製品への流用や他製品からの流用はできません。
- ✧ 本製品に装備しています鍵類は、該当箇所を簡易的に固定するための物です。意図を持った第三者により、鍵の掛かった部分を開けられる可能性がある事をご了承願います。
- ✧ 製品の改善などのため、予告なしに仕様の変更をする場合があります。

２．付属品及び名称

【注意】★付属品に関しましては生産時期やロットにより変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

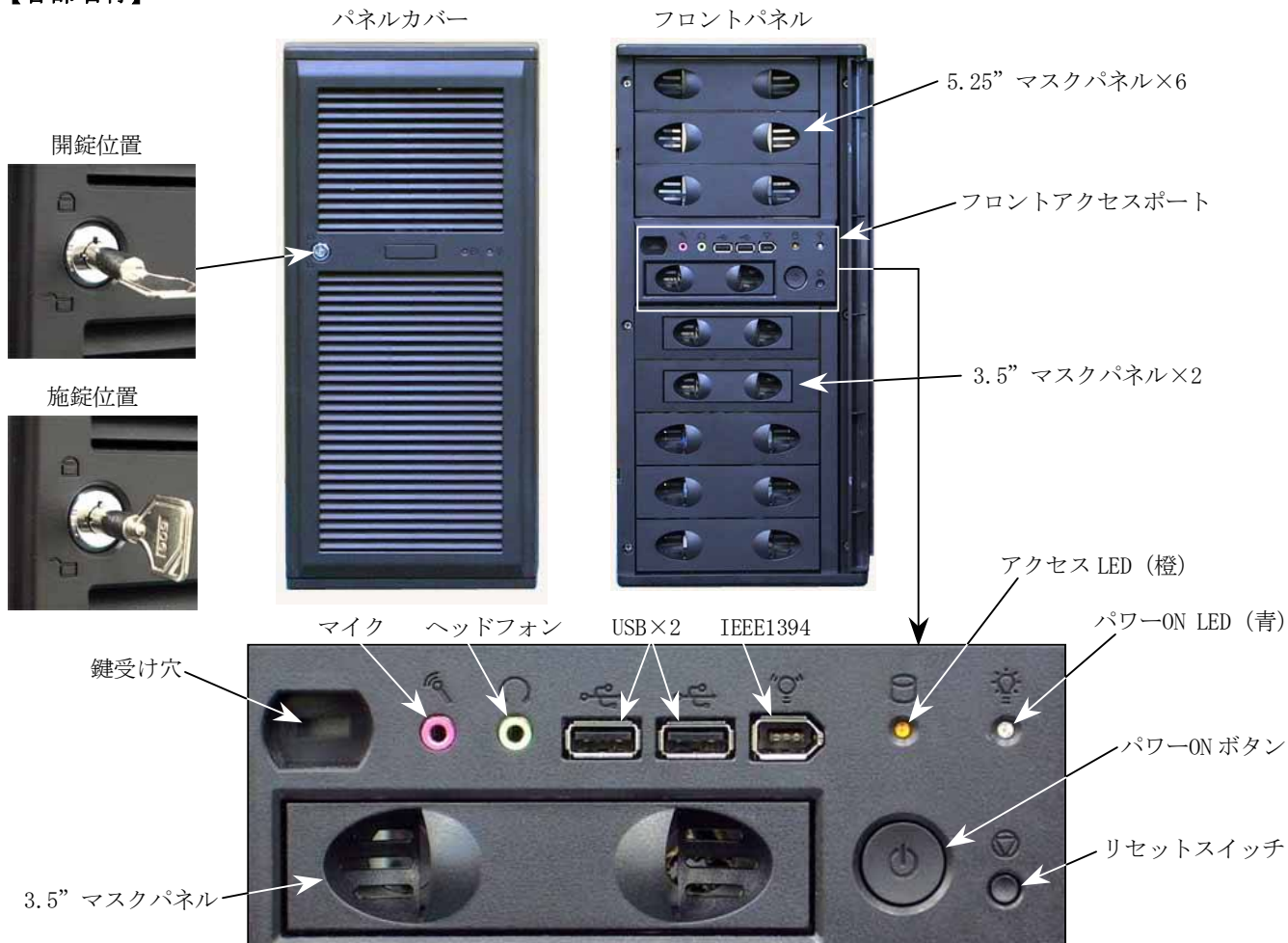
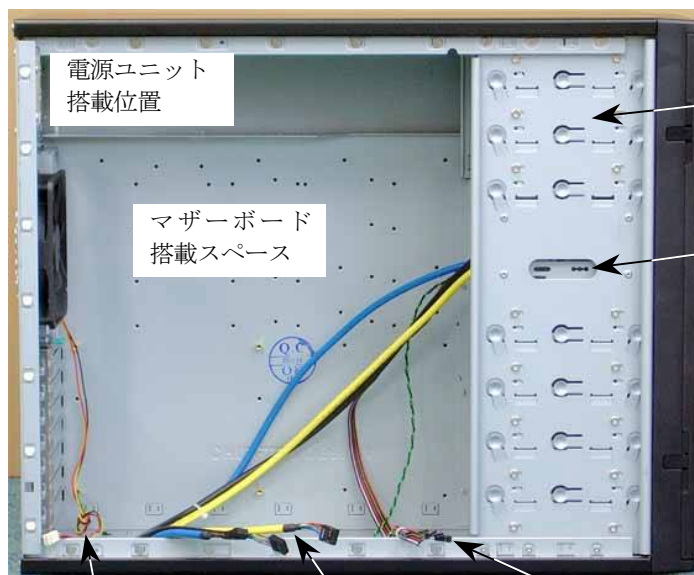
六角スタッド

フランジ付き
インチネジ

フランジ付き
ミリネジ

左サイドパネル鍵

パネルカバー鍵

【各部名称】

パネルカバー

フロントパネル

開錠位置

施錠位置

5.25”マスクパネル×6

フロントアクセスポート

3.5”マスクパネル×2

アクセス LED（橙）

パワーON LED（青）

マイク

ヘッドフォン

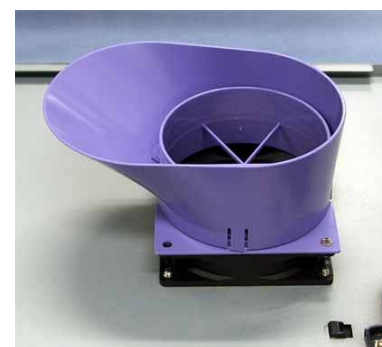
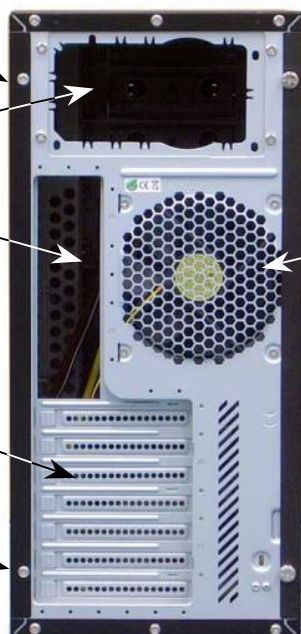
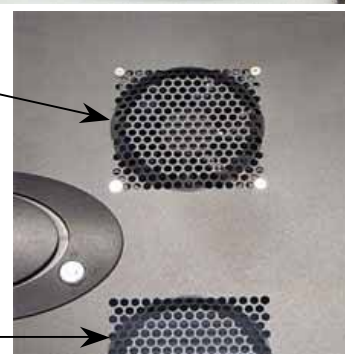
USB×2

IEEE1394

鍵受け穴

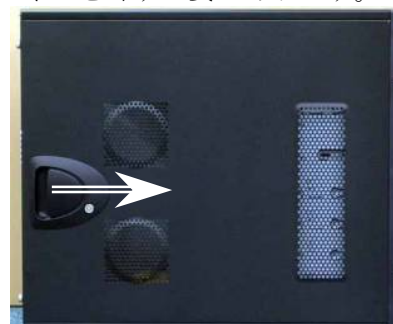
パワーON ボタン

リセットスイッチ

3.5”マスクパネル

3．サイドパネルの取外し

本製品の右サイドパネルはネジよる固定、左サイドパネルは鍵＋手締めネジによる固定となっています。5.25”ベイ及び3.5”FDDベイへの各機器の取付けには、ネジ止めのため両側のパネルを外す必要があります。

施錠位置

開錠位置

①背面側の固定ネジ、
上下2箇所を外します。

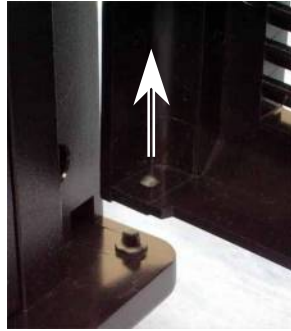
②キーを開錠位置に回します。

③レバーを前方に押しながら、
パネルを手前に引きます。

ここでは左サイドパネル取外しについて解説しています。右サイドパネルもこの方法に準じてください。

４．フロントパネルの取外し

本製品にFDDを組込む場合など、正面板のマスクプレートを外す時は、フロントパネルを取り外す必要があります。フロントパネルは6箇所のネジで固定されていますので、以下の手順で外してください。

①パネルカバーの右上を手前に引き外します。

②パネルカバーを上方向に抜いて外します。

③パネルの固定ネジ6箇所を外します。

④線類を引っ張らない様に注意し、手前に外します。

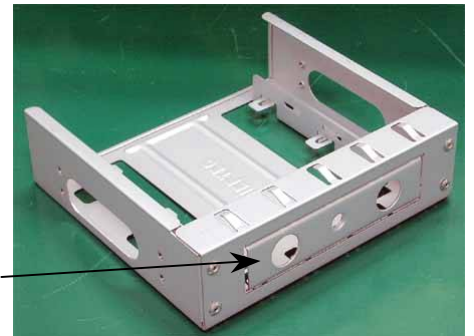
５．5.25”→3.5”変換ブラケットの取扱い

本製品には5.25”ベイが8台分あります。5.25”ベイに3.5”FDDや内蔵式3.5”カードリーダ、3.5“HDDなどの機器を取付ける場合、付属の5.25”→3.5”変換ブラケットを使用します。

＊変換ブラケットは5台分付属しています。本体に組込み済みですので、一旦取出して作業してください。

＊以降の解説では“変換ブラケット”と表現します。

HDDを取付ける場合は現状のまま使用します。

FDDやカードリーダ取付けの場合は、マスクプレートを外して使用します。

６．3.5”FDDの取付け

本製品には3.5”FDD専用ベイの他、変換ブラケットを使用する事で、最大3台の内蔵式カードリーダ又はFDDなどの組込みができます。着手前にフロントパネルを外してください。

①マスクプレートにドライバの柄などを差込み、上下に煽って外します。

②フロントパネルを取付け、マスクパネルを外します。

③FDDを3.5"FDDベイに、挿入します。

④左右よりネジ止めして完了です。

７．3.5”HDDの取付け

本製品は変換ブラケットを使用する事で最大5台のHDDを組込むことが出来ます。固定にはHDD付属のネジを使用し、底面止め（底面側よりネジを入れる）による固定をしてください。

【注意】★HDDを取付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定（SATAは不要）を必ず行って下さい。
★ドライブは精密製品ですので静電気対策及び振動・衝撃等を与えないように十分ご注意下さい。

①マスクパネルを外し、変換ブラケットを引出します。

②裏返しに置いたHDDに、裏返しの変換ブラケットを載せます。

③HDD付属のネジで固定します。

④本体に挿入し元通りに固定します。

８．5.25”機器の取付け

本製品では最大8台（変換ブラケットと排他使用になります）の5.25”機器（光学式ドライブやモービルラックなど）を組込むことが出来ます。

【注意】★光学ドライブを取付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定を必ず行って下さい。
★5.25”機器の奥行寸法や、組込む位置によりマザーボード上の部品と干渉する場合があります。マザーボード及び5.25“機器をお求めの際は、組込み可能かをご確認の上お求め願います。

①該当部分のマスクパネルを外します。

②各機器を5.25”ベイに挿入します。

③パネル面に合わせます。

④左右よりネジ止めします。

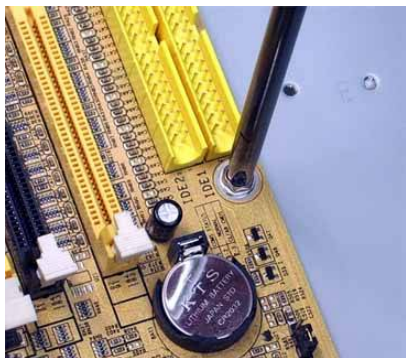
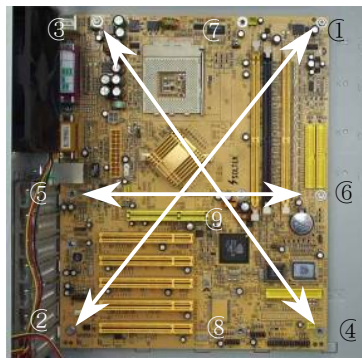
９．マザーボードの取付け

本製品ではATX、又はエクステンドATXで、305×305mm以下のマザーボードを搭載することが出来ます。マザーボード取付けには、付属の六角スタッドを使用します。

【注意】★305×305mm以下でも、マザーに搭載されている部品・ユニットなどの突起物や、5.25”機器など周辺機器の出っ張りにより取付けできない事があります。お求めの際は双方の適合をご確認願います。
★不必要な部分に六角スタッドは絶対に取付けないで下さい。ショート事故等を招き、マザーボードに重大な障害を起こし、火災などの原因となる可能性が有ります。

①マザーボード付属のI/Oバックパネルを取付けます。

②マザーボードの固定穴に合わせて六角スタッドを取付けます。

③I/Oバックパネルにコネクタ類を合わせながらマザーボードを挿入します。

④固定するネジ穴全てに､付属のインチネジを入れます。
（ここでは締付けしない）

⑤ネジの締め付けは、対角線上の順番で締めていきます。

⑥I/Oバックパネルに正しく各種コネクタが出ていることを確認します。

１０．システムパネルケーブルに関して

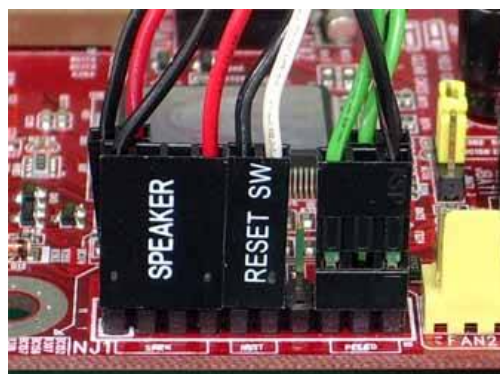
正面板に装備されているスイッチ・LEDに接続されているコネクタの説明を行います。
接続先に関しては、ご利用のマザーボードマニュアルを参照して下さい。

●パワースイッチ
極性無し

●リセットスイッチ
極性無し

●アクセスLED
－：黒
＋：赤

●パワーLED
－：黒
＋：緑

●スピーカー
極性無し

各スイッチなどをマザーボードに接続した例、
マザーボードにより位置などが異なります。

１１．フロントパネルアクセスポートに関して

本製品のフロントパネルにはIEEE1394､USBポート､ヘッドフォン､マイク端子がそれぞれ装備されております。

【注意】★接続の際にはマザーボード付属のマニュアルを確認して接続して下さい。
★マザーボード又は拡張ボード（PCIカードなど）に接続ピンヘッダーが無い場合は、フロントアクセスポートが使用できません。
★以下のピンアサインと相違がある場合もフロントアクセスポートが使用できません。相違があるまま接続しますとPCや、接続した機器を破損する恐れがあります。
★生産ロットにより線の色が変わる場合があります。

●USB 9ピン・ピンヘッダーに接続します。

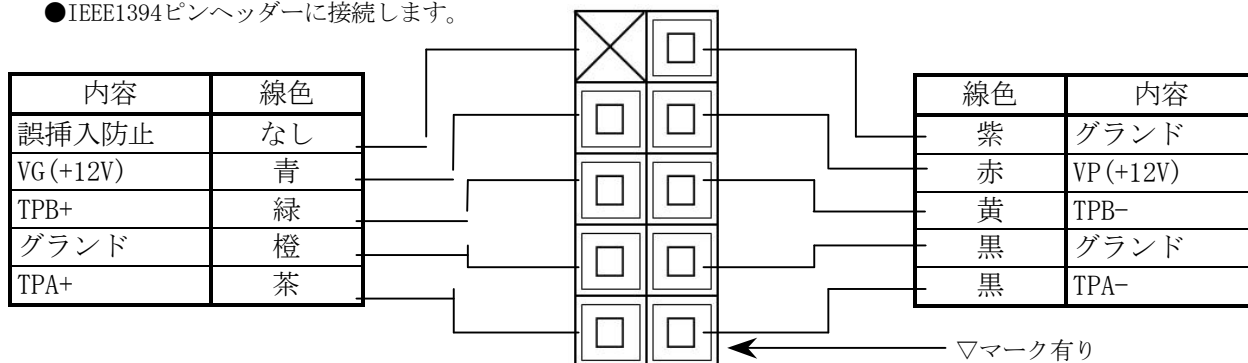
線色	内容	他での呼称例
茶・黒	+5V	VCC*, PWR, POWER
橙・赤	データー	USB*-, D-, DATA-, LDM*
緑・黄	データ＋	USB*+, D+, DATA+, LDP*
青・黒	グランド	GROUND, GND, COMMN

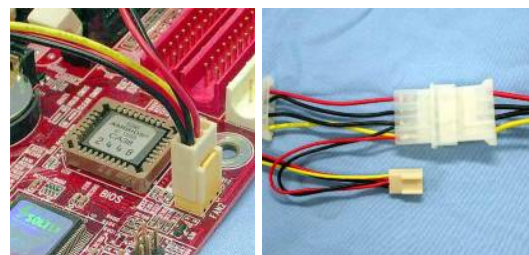
●AC’97　オーディオピンヘッダーに接続します。

●IEEE1394ピンヘッダーに接続します。

IEEE1394ピンアサイン。

内容	線色
誤挿入防止	なし
VG(+12V)	青
TPB+	緑
グランド	橙
TPA+	茶

線色	内容
紫	グランド
赤	VP(+12V)
黄	TPB-
黒	グランド
黒	TPA-

１２．ファンケーブルの配線・ファン交換・増設方法

本製品の背面には12cm排気ファン､パッシブダクトには9cm吸気ファンが装備されております。右の写真の様に、引出されている線の“ミニ3Pコネクタ”をマザーボードのファンコネクタ、又は“4Pペリフェラルコネクタ”を電源ユニットに接続してください。

【注意】★付属ファンのケーブルは、3P又は4Pのどちらか一方を接続してください。両方を接続するとショート事故になる可能性があります。

★自作パソコンの温度管理はお客様の責任です。CPUや各種部品の発熱が多い場合は、増設や強力なファンに交換するなどの対応が必要です。冷却能力を超えた過熱による故障などは保証の対象外です。

★雑音や故障の原因となりますのでファンの中心部を押したり、羽を指で回したりしないで下さい。

★冷却性能を保つため定期的にファンのメンテナンスを実施して下さい。（ホコリ除去等）

【背面排気ファン取外し】

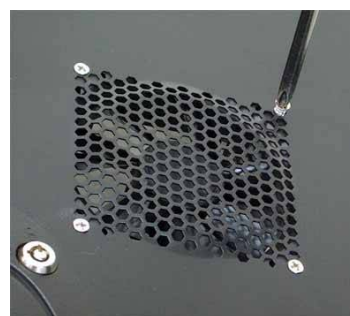
①固定ネジを外します。

②ファンを取出します。

③取付けは、取外しと逆の手順で行います。

【左サイドパネル吸気ファン増設】

①ファンの向きを確認します。吸気方向になるように取付けます

②ファンを内側よりサイドパネルに当て、外側よりネジ4本で仮締めします。

③対角線上の順番でネジを締付け、完了です。

１３．電源ユニットの取付け

★電源無しモデルでは電源ユニットは付属しませんので､お客様の環境に合わせた電源を別途ご用意ください。

★電源の不具合やメンテナンスのために電源ユニットを交換する場合も下記の手順に準じてください。

①マザーボードなどの部品を避けながら、ケース内に入れます。

②背面板に密着させます。

③固定ネジ4本（〇印）を仮止めし、線の挟まりなどがないか確認します。

④固定ネジ4本を締付けして完了です。

【注意】

★電源ユニットの作業を行う場合は、必ず電源コンセントを抜いてから作業を行って下さい。

★ケース内部には鋭い突起部分が有ります。触れると負傷する場合がありますので、手袋などで身体の保護を図り、尚且つ作業中は十分な注意を払って行って下さい。

１４．パッシブダクト

本製品はサイドパネルに、9cm吸気ファン付きの高さ可変式パッシブダクトを装備しております。ご利用になる、CPUクーラーの高さに合わせてダクトを調整することが可能です。

【注意】★このダクトとCPUクーラーとの隙間が10～20mm位になるよう調整をしてください。CPUクーラーやその他の部品に接触させますと故障や異音の原因になります。

CPUクーラーの高さに合わせて位置を調整します。両手の親指を支点にすると楽に動きます。

１５．PCIカードなどの取付け

本製品PCIスロットへのPCIカードなどの固定は､専用金具を用いる事によりネジを使用しない固定が可能です。

【注意】PCIカードやグラフィックカードの種類により､専用金具とカードに付いているコネクタなどの部品が干渉する場合がございます。この場合は専用金具を取外し、ネジを使用して固定してください。

①PCI固定専用金具を一旦外します。

②PCIカード類を取付けます。

③PCI固定専用金具を元の位置にロックします。

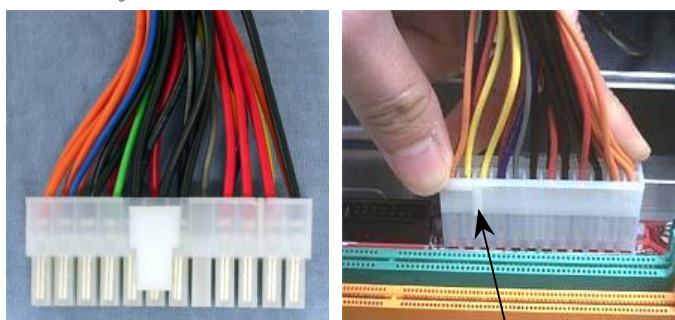
１６．電源コネクタ各種説明

ここでは弊社取り扱い電源の中から抜粋して、一般的な接続の解説をいたしますので参考にしてください。

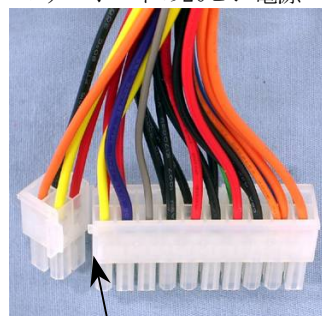
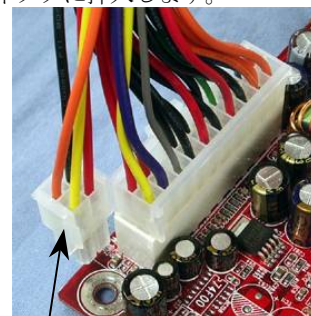
【注意】★弊社取扱い電源でも種類によりコネクタなどに相違があります。

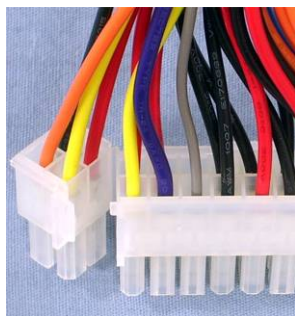
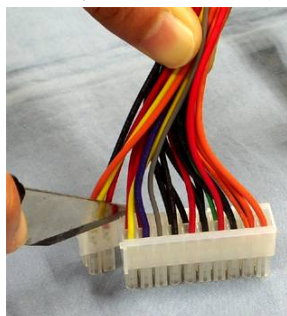
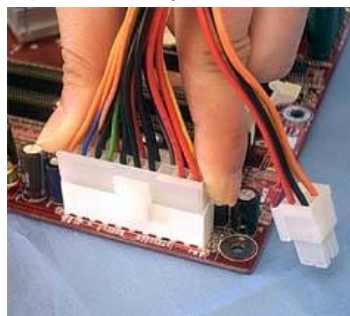
★各電源メーカーにより、取扱い方法が異なる場合やコネクタなどに相違がありますので、詳細はご使用になる電源ユニットのメーカーにお問合せ願います。

【マザーボード用　20+4ピン　コネクタ】

マザーボードの24ピン電源コネクタに挿入します。20ピン部分と4ピン部分の双方を押すようにしてください。

20+4ピン結合部分

マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が他の部品などに接触しない場合。

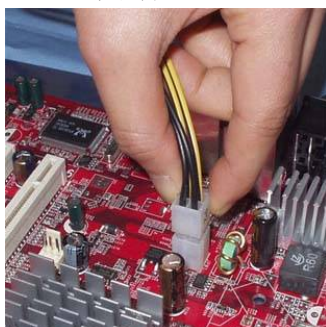
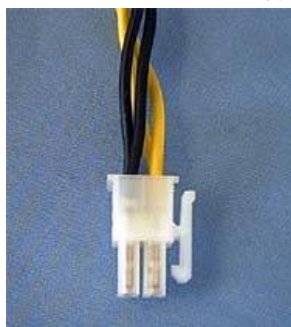
結合部分を外すと4ピン部分が開きますので、20ピン部分をマザーボードの20ピン電源コネクタに挿入します。

結合部分を外すと4ピン側が開く。

余る4ピン側が他の部品などに接触しない場合。

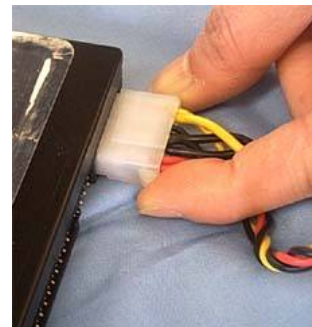
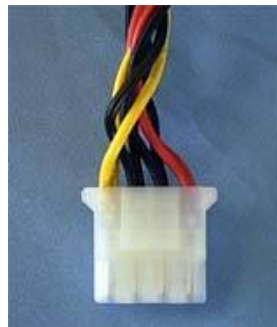
マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が部品などに接触する場合。

結合部分を外し、4ピン部分を開きます。

ナイフなどで4ピンと20ピンの接続部分を切断します。

20ピン部分をマザーボードの20ピン電源コネクタに挿入します。

【警告】20＋4 ピンコネクタの切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

【注意】余分なコネクタ及び切り離して使用しないコネクタはショート事故防止のため、尖った物などに中芯ピンが接触しないよう固定するか、絶縁テープなどで保護してください。

【 ATX12V 4ピン電源コネクタ】

マザーボード上の ATX12V 電源コネクタに挿入します。
※製品により4+4の8ピンになります。4ピンのみ使用する場合は、上のマザー用24ピン切り離しを参考に、切離しご使用下さい。

【ペリフェラル4ピン電源コネクタ】

HDD、CD-ROM 等の電源コネクタに接続します。

【警告】各コネクタは、逆挿し（裏返し）や、ずれ挿しをしないよう注意してください。
製品によってはコネクタが逆さでも接続できてしまう場合があります。
逆挿しやずれ挿しをしますと、各機器の故障だけでなく火災の発生原因になります。

【ミニ４ピン電源コネクタ】

FDD等の電源コネクタに接続します。

写真は FDDへの接続不良例です。

製品により位置や向き、形状が違います。

逆挿し（裏返し）　ずれ挿し（横ずれ）

【 S-ATA 電源コネクタ】

S-ATA HDD に接続します。

【 PCI EXPRESS 6ピン電源コネクタ】

PCI EXPRESS ボード上の6ピン電源コネクタに挿入します。

組込み適合が確認されている機器のご紹介

PC ケースへの組込み機器をお選びの際は、本 PC ケース（OWL-603D）への適合が確認済のため安心して組込みできる、以下の弊社製品及び弊社取扱品をお勧め致します。

1）5.25”機器（同モデル内の色別は**で省略しています）

TS-H652D

光学ドライブ類
TS-H652D・TS-H652L

モービルラック
OWL-AF80IP**・OWL-AF80IA**・OWL-AF80UP**
OWL-BF90SP**・OWL-BF90SA**

PCI-Express 用電源
OWL-PSVGA300

カスタムパーツ
OWL-BRA9020 をはじめ各種ございます。

OWL-AF80IA

OWL-PSVGA300

OWL-BRA9020

2）3.5“機器（同モデル内の色別は**で省略しています）
FDD
D353M**/BOX・D353M**
FDD＋カードリーダ
FA404MX**/BOX・FA404MX**・FA404M**
カードリーダ
FA405MX**/BOX・FA405M**/BOX・FA405M**

FA404MX

3）電源
OWL-PSGMR650・OWL-PSGMR550・FSP400-60GLN
SS-700HM・SS-600HM・SS-500HM・SS-650HT・SS550HT
SS-460HS/S・SS400HS/S2・SS-410C・SS-600HT・SS-380HB
SS-400HS/S・SS-460HS
GPS-450AA-100A・GPS-400AA-100A

SS-700HM

4）ファン（同モデル内の色別は**で省略しています）
12 cmファン
OWL-FY1225L**・OWL-FY1225M・F12-N・F12-S・HYD-12025A
9cm ファン
OWL-FY0925L・OWL-FY0925M・F9-N・F-9SS・109L0912H402

OWL-FY1225L

【注意】上記製品の他に新規開発製品が随時追加されています。又上記製品の中には在庫が終了次第、販売終了となる製品もありますので、購入できない場合もあります。販売店にご希望の製品が無い場合は販売店にて注文が可能な場合がありますので、販売店にお尋ね願います。弊社製品取扱店一覧、各機器の仕様や発売予定の新製品は、弊社 WEB サイト　http://www.owltech.co.jp をご覧ください。

パソコンケースで困ったときは？

パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は、該当致します項目をご確認願います。

Ｑ：電源が入らない。
Ａ：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？電源タップを使用している場合はタップの確認をして下さい。
②電源ユニットにスイッチがある場合は、スイッチの確認をして下さい。「○」がOFFで
「－」がONになります。
③パソコン本体にあるパワースイッチコネクタをマザーボード上の正しい位置に接続していますか？

Ｑ：電源は入るが画面に映像が映らない。
Ａ：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
②パソコン本体に接続するVGAケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

Ｑ：ケースに搭載されているLEDやスイッチ類の配線方法が良く分かりません。
Ａ：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
LEDには極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
また、フロントにUSBポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のUSBピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

Ｑ：ケースに搭載されている電源を交換することは可能ですか？
Ａ：ATX規格の電源はメーカー問わず規格で統一されていますので交換をすることは可能です。
ただし、ATX12V Ver1.3からは-5Vの電源ラインが削除されておりますので型番の古いマザーボード等では正常に動作しない場合が有りますのでご注意ください。（ISAバス搭載M/B等）

Ｑ：マザーボードの取付け位置が合わない。
Ａ：マザーボードは背面のI/Oパネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する場合は、最初の1本目から本締めすると2本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上の順番で本締めをしてください。

Ｑ：FDDやHDDを固定するネジは？
Ａ：通常、FDDやCD-ROMを固定するネジはミリネジを使用します(ねじ山の間隔が狭いネジ)。
また、HDDを固定する場合はインチネジを使用します(ねじ山の間隔が広いネジ)。
＊HDDやCD-ROMにネジが付属されている場合は、その専用ネジを使用して下さい。

Ｑ：マザーボードのI/Oパネルとケースのの I/Oパネルの形状が異なります。
Ａ：ケースに搭載されているI/Oバックパネルは取外すことが可能です。上下ツメで固定されているので上下の部分をマイナスドライバー等で軽く押し交換をして下さい。また、板金などのエッジ部分に鋭い部分が有りますので交換の時は、ケガをしないよう十分注意して作業を実施して下さい。

Ｑ：PCI拡張スロット全てに拡張カードを接続してもOKですか？
Ａ：システムが不安定になる場合が多いので、AGPカードを差す下にあるPCIバスと一番下にあるPCIバスにはなるべくカードを接続しないほうが良いと思います。

Ｑ：マザーボードのFANソケットが少なくてケースに搭載されているFANを使用する事が出来ません。
Ａ：FANソケットが少ない場合は、DOS/Vパーツ専門店にて電源から供給しFANを回すことが出来る変換ケーブルが発売をされているので別途、購入し使用して下さい。弊社にて取扱いをしているFAN変換ケーブルの型番は「CBL-CL4」になります。

Ｑ：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？
Ａ：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。（保証書の確認が必要になります）

また、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。

Rev.1